

課題番号：輸保貯-103

課題名	廃炉プロセス「輸送・保管・貯蔵（燃料に由来するα核種が含まれる廃棄物含む）」		時間軸情報	汚染水対策				
	検討対象「キャラクターゼーション①」			使用済燃料プールからの燃料取り出し				
	課題「計量管理」			燃料デブリ取り出し				
				PCV/RPV/建屋の解体				
				輸送・保管・貯蔵		1		
段階	Preparation		処理・処分・環境回復					
ニーズ	望ましい状態とその理由		(参考) 関連する研究課題					
1	合理的な燃料デブリや核燃料物質の計量管理方策を立てたい。	<p>●汚染水の水処理二次廃棄物は、これまでに処理実績の少ないものであり、輸送・保管・貯蔵を見据えて、その性状や発生量、汚染核種の種類、化学形、量が把握されることが望ましい。</p> <p>●この際、湿分を含み屋外に通気状態で保管されている水処理二次廃棄物は、カビや苔等が繁殖し、分析や以降の固化処理が困難となる可能性にも留意が必要である。そのため、高線量下での微生物等による影響評価と必要に応じて対策技術も望まれる。</p>	【実施されている研究課題】					
			特になし					
			【検討されている研究課題】					
			課題リスト「合理的な核物質管理方策の検討」					
			課題リスト「保障措置方策の検討」					
関連する課題	<p>SFP-301「がれき等撤去/SF取り出し」</p> <p>デブリ-301「PCV内燃料デブリ取り出し」</p> <p>デブリ-302「RPV内燃料デブリ取り出し」</p> <p>解体-301「炉内構造物の撤去」</p> <p>共-3「測定・分析技術」</p>							